Active Directory® のすすめ

比べてナットク！7 つのメリット

1-3
ユーザー管理/クライアント管理

マイクロソフト株式会社

本資料は、Microsoft® Office PowerPoint® 2007 で作成しています。

はじめに

拝啓　ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
また、平素より弊社製品をご愛顧頂き、誠にありがとうございます。

さて、このたびは弊社 Active Directory® に関するご提案の機会を賜り、誠にありがとうございます。本提案書では、セキュリティ基盤としての Active Directory を、よりお客様にご活用いただくための 7 つのソリューションをご紹介いたします。

今日、急速に変化する社会環境において、より多くの付加価値を生み出し組織の活動を支えるコンピューティング システムにおいても、より高い付加価値の創造、柔軟性、コスト削減が強く求められております。弊社がご提案させていただくテクノロジ、サービスはまさにこれらの課題を解決し、 問題解決に貢献するものと確信しております。

つきましては何卒、本提案書の内容をご検討のうえ、ご採用賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

マイクロソフト株式会社

“Active Directory” 活用していますか？

管理の効率化

- コンピュータの一括統制 … P3
- 更新プログラム適用の効率化 … P4

セキュリティ強化

- Web アクセスの制御と監査 … P5
- ウイルス対策環境の一元化 … P6
- 高度な情報漏えい対策 … P7

情報の活用

- コミュニケーションの最適化 … P8
- 散在情報の統合と検索 … P9

『管理の効率化』コンピュータの一括統制
グループ ポリシーの活用で管理作業を省力化

Active Directory がないと…

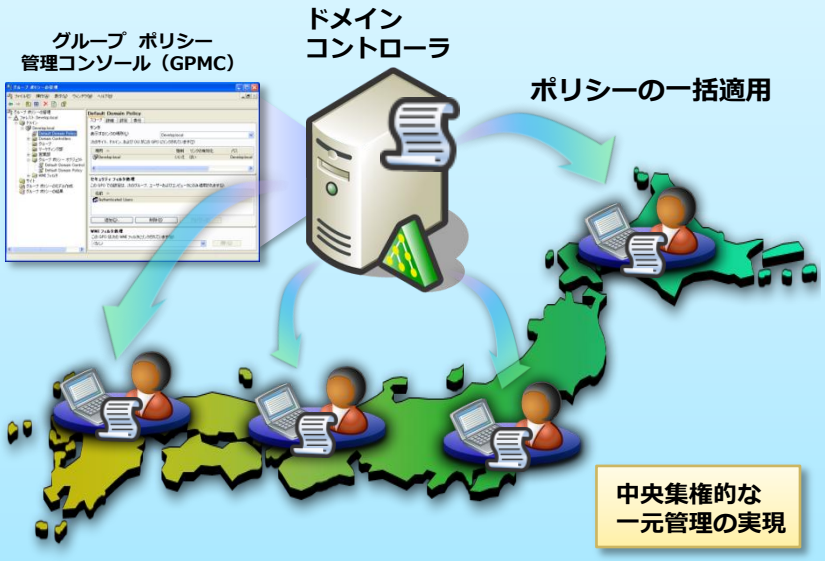
こんな悩みありませんか？

- PC の環境を統一したい
- ユーザー管理を一元化したい
- USB 記憶デバイスを禁止したい
- 特定プログラムの実行を禁止したい
- 特定フォルダを一気に暗号化したい

⋮

Active Directory 環境で グループ ポリシーを活用すれば…

単一コンソールからの集中制御で
現場での設定作業は、もう不要です。



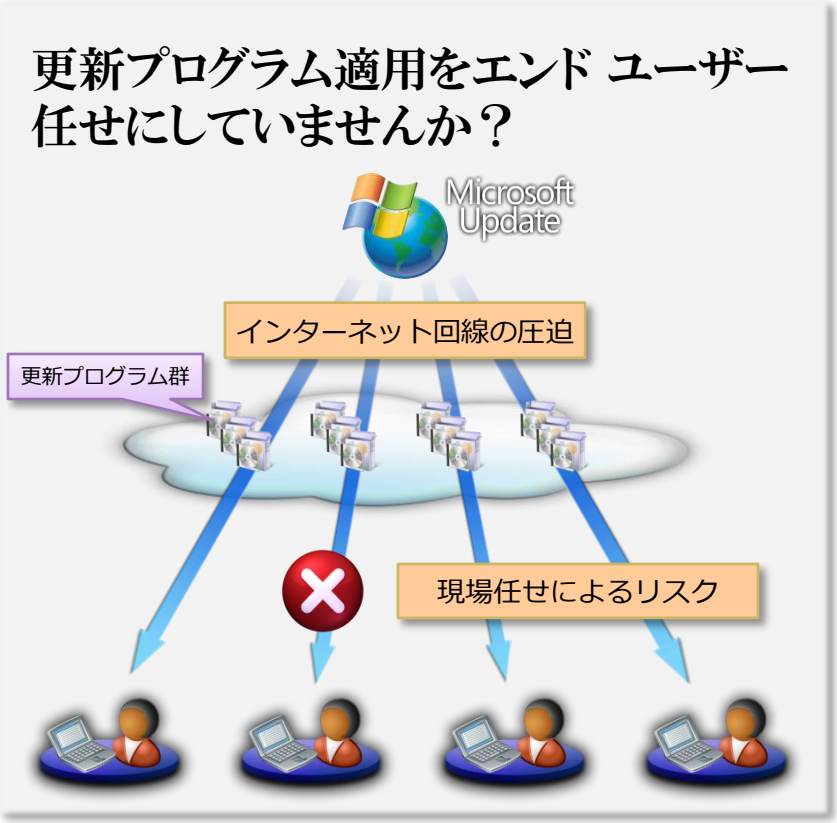
活用のポイント

Active Directory を認証だけに使っていませんか？ グループ ポリシーを使うことで、クライアント PC やユーザーに対するさまざまな設定を一括で適用でき、かつ一元的に管理することができるようになり、管理作業が激減します。

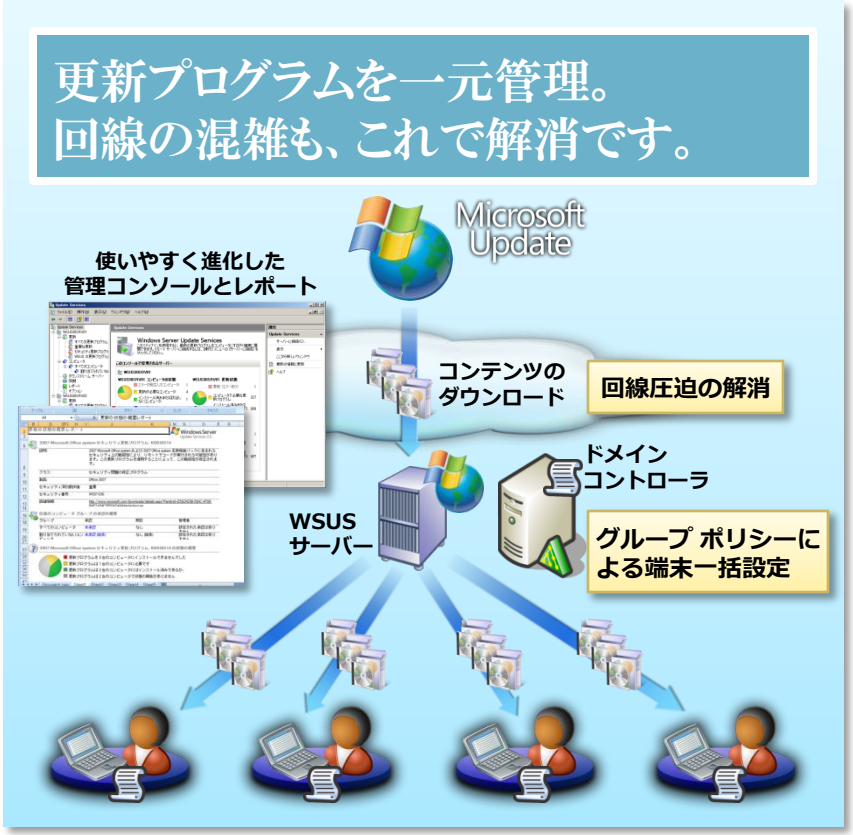
Windows Server 2003 R2

『管理の効率化』 更新プログラム適用の効率化
Windows Server® Update Services 3.0 (WSUS) の利用

Active Directory がないと…



Active Directory 環境で WSUS 3.0 を利用すれば…



活用のポイント

WSUS を利用すれば、更新プログラムの一斉ダウンロードによるインターネット回線の圧迫を解消しつつ、更新プログラムの適用状況確認やレポーティングを一元的に実施できます。PC 側の構成変更は、管理者がグループ ポリシーを設定するだけです。

Windows Server Update Services 3.0

『セキュリティ強化』 Web アクセスの制御と監査

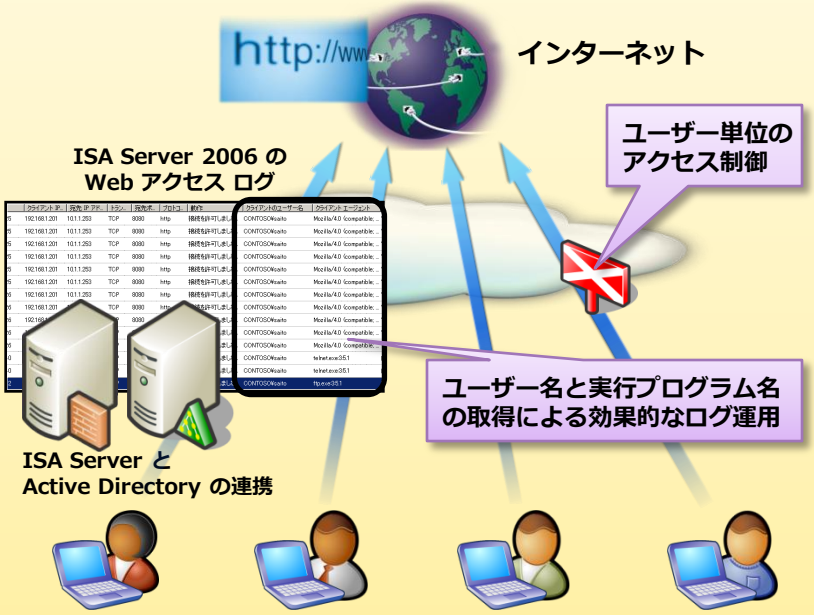
Microsoft® Internet Security & Acceleration Server 2006 (ISA) との連携

Active Directory がないと…

だれが、いつ、どこにアクセスしているか、把握していますか？

Active Directory 環境で ISA Server 2006 を連携すれば…

“ユーザー” 単位のアクセス制御で、ログの分析や監査証跡も万全です。



活用のポイント

Web アクセス ログに IP アドレスのみを記録してもユーザーが特定できないので、セキュリティ対策として有効なものとはなりません。ISA Server 2006 と Active Directory を連携することで、効果的な Web アクセス制御が可能になります。

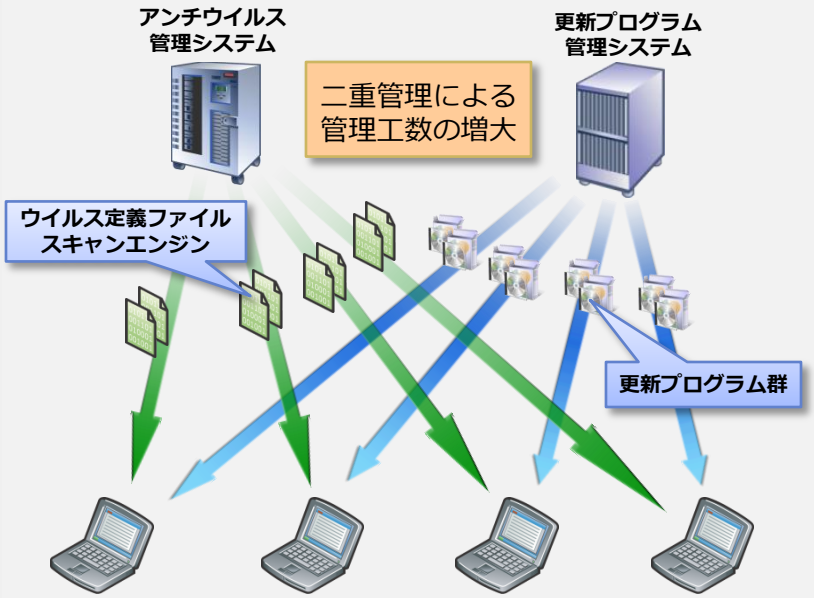
Microsoft® Internet Security & Acceleration Server 2006

『セキュリティ強化』 ウイルス対策環境の一元化

Microsoft® Forefront™ Client Security でセキュリティ インフラを統合

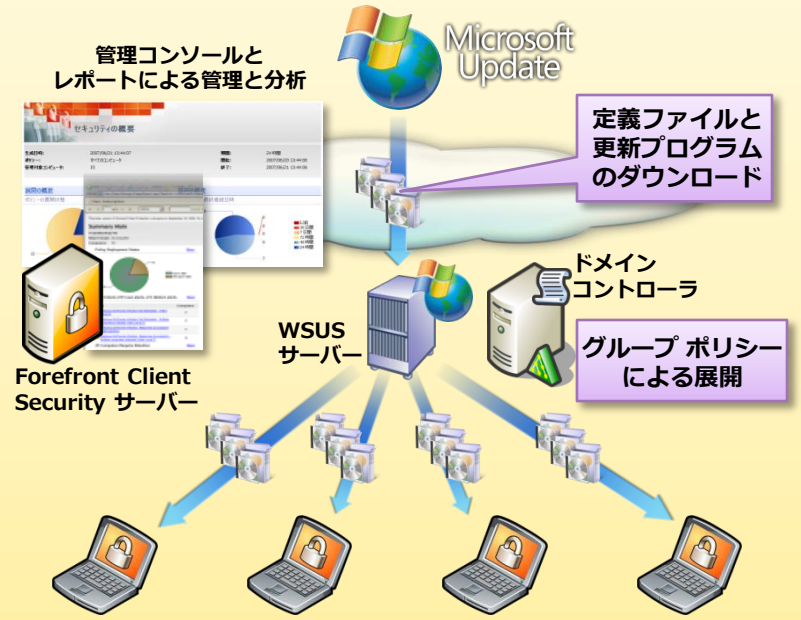
Active Directory がないと…

ウイルス対策環境と更新プログラムを別々に管理していませんか？



Active Directory 環境で Forefront Client Security を利用すれば…

ウイルス対策環境を統合することで、更新プログラムも同時に管理。



活用のポイント

Forefront Client Security はウイルスの監視や駆除を行うだけでなく、WSUS から定義ファイルをダウンロードできるので、セキュリティ対策環境を一元化できます。また、Active Directory のグループ ポリシーを利用してスキャン プログラムの展開を効率化できます。

Microsoft® Forefront™ Client Security

『セキュリティ強化』 高度な情報漏えい対策

Windows® Rights Management Services (RMS) で文書を完全保護

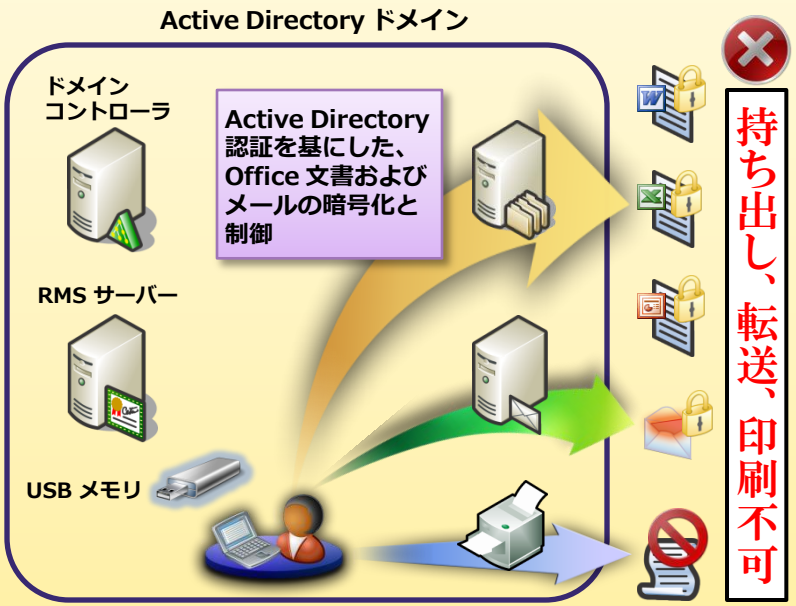
Active Directory がないと…

ビジネス文書や機密情報の漏えい対策は万全ですか？

- ファイル サーバーからの不正コピー
- メールによる機密情報の転送
- 文書の印刷による漏えい
- USB メモリによる文書の不正持出し
- 第三者による盗聴や不正アクセス

Active Directory 環境で RMS を利用すれば…

文書やメールの暗号化だけでなく、操作も制御して完全防御を実現。



活用のポイント

RMS を利用することで、Office で作成した文書だけではなく、電子メールに対しても鍵をかけることができます。
Active Directory の認証情報を基に制御するので、万が一情報が第三者に渡っても文書を開くことができません。

Windows Rights Management Services

『情報の活用』コミュニケーションの最適化

Microsoft® Exchange Server 2007 でメッセージ環境を統合

Active Directory がないと…

メール サーバーと PC の管理は独立したものだと思っていませんか？

メール
サーバー管理

- メール アドレス管理
- メール ボックス管理
- パスワード管理
- リモート アクセス管理
- ポリシー管理

⋮

クライアント
PC 管理

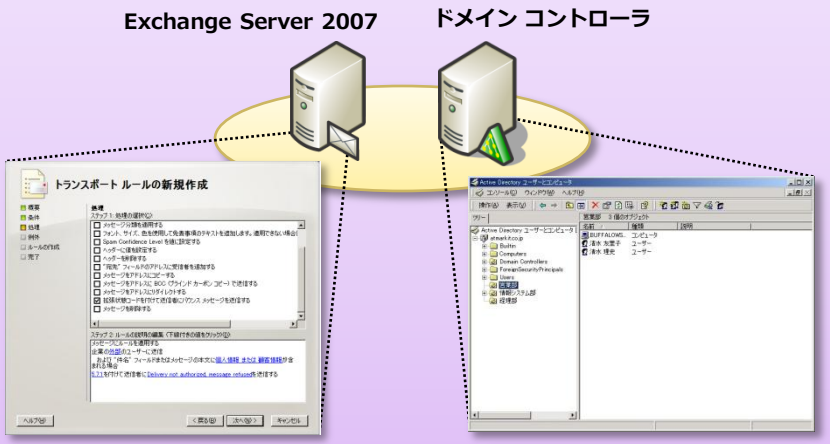
- ユーザー管理
- パスワード管理
- アクセス管理
- デスクトップ制御
- PC 構成の標準化

⋮

個別管理による管理コストの増大と効率の低下

Active Directory 環境で Exchange Server 2007 を利用すれば…

Active Directory との統合で管理を一元化し、メッセージも統制。



トランスポート ルールの利用による、中央からのメール制御

Active Directory のユーザー管理とメール ユーザー管理の統合

活用のポイント

Exchange Server 2007 は Active Directory と完全に統合されているので、ユーザー管理は統一されています。
また、メールに対する処理ルールを管理者が指定できるようになったので、コンプライアンス対策にも活用できます。

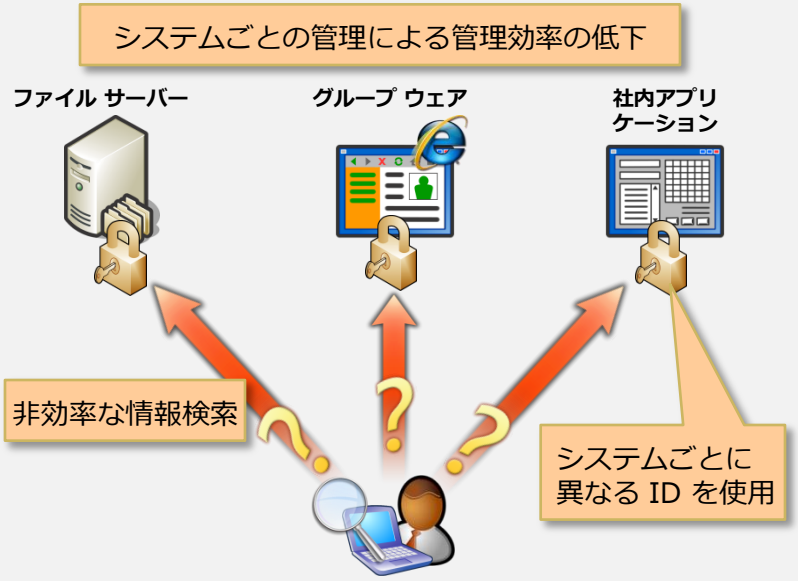
Microsoft® Exchange Server 2007

『情報の活用』散在情報の統合と検索

Microsoft® Office SharePoint® Server 2007 で情報の共有と活用を促進

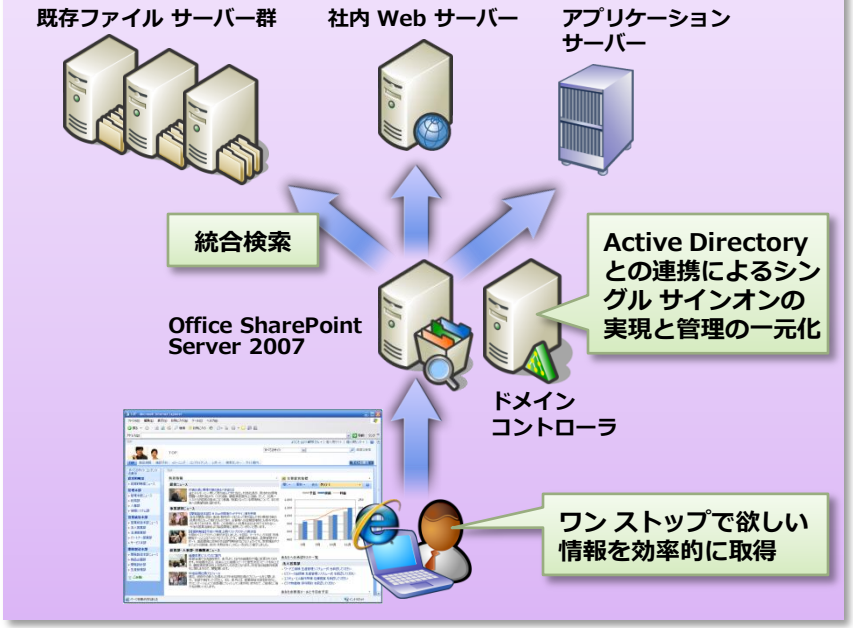
Active Directory がないと…

情報共有の仕組みが乱立していて、
かえって不便になっていませんか？



Active Directory 環境で SharePoint Server 2007 を利用すれば…

情報の集約と検索で既存資産の有効活用を実現し、管理性も向上。



活用のポイント

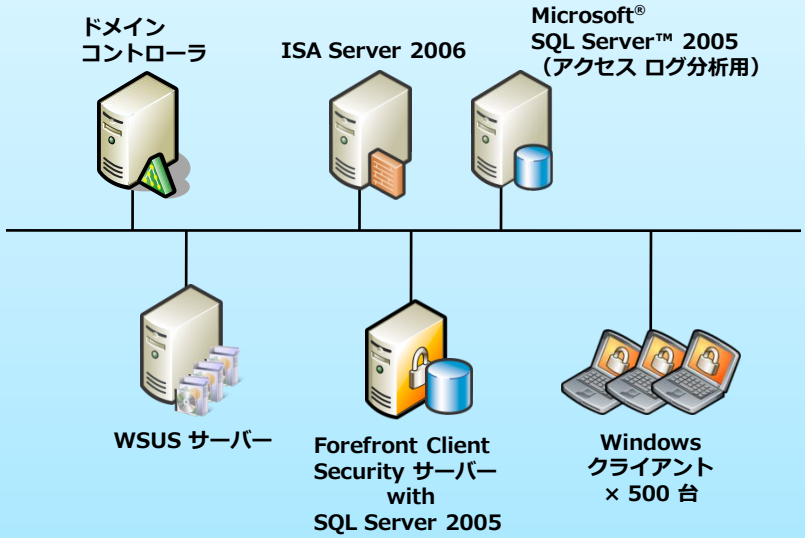
SharePoint テクノロジの利用で、情報の検索効率が飛躍的に向上します。検索結果は Active Directory のアクセス権を基に表示されるので安心です。またファイル サーバーからの移行ツールを使えば、文書の共有と管理がさらに効率化します。

Microsoft Office SharePoint Server 2007

Active Directory を利用したシステム構築例と参考価格

セキュリティ基盤の統合

＜構成例：PC 500 台、Active Directory 導入済み＞

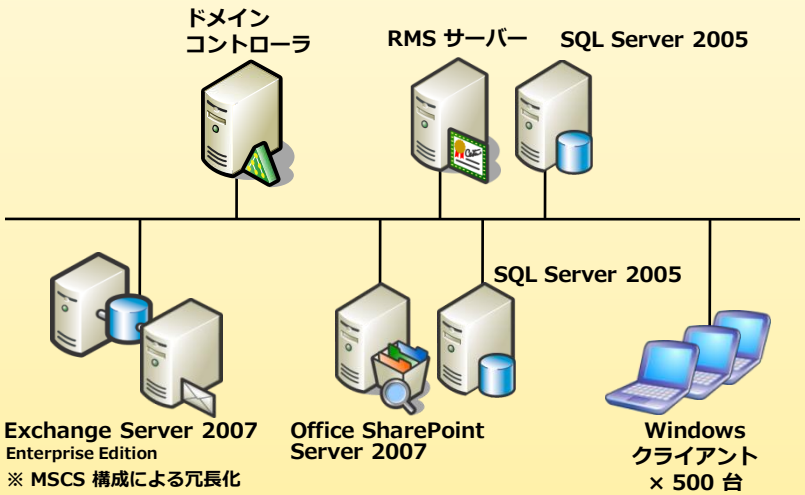


Windows Server 2003 R2 Standard ¥82,200-×4	¥328,800-
ISA Server Standard Edition ¥157,600-×1	¥157,600-
SQL Server Standard (Processor License) ¥698,000- ×1	¥698,000-
Forefront Client Security With SQL Server ¥262,800-/年額 ×1	¥262,800-/年額
Forefront Client Security ¥1,356-/年額 ×500	¥678,000-/年額
合計	¥1,184,400-
	¥940,800-/年額

ハードウェア、SI 費用、Active Directory 構築費用と AD 用の Windows Server ライセンス、Windows Server CAL は含まれておりません。
記載の価格は参考価格です（2007年9月現在）。お客様の実際のお支払額は、お客様の直接のご発注先である LAR 様・販売会社様との間で決定されます。
参考価格は、Select の価格レベル A の新規ライセンス（L）で算出しております。Select 契約のご利用は、別途ご契約が必要になります。

セキュアな情報共有環境

＜構成例：PC 500 台、Active Directory 導入済み＞



Windows Server 2003 R2 Standard ¥82,200-×4	¥328,800-
Windows Server 2003 R2 Enterprise ¥284,000-×2	¥568,000-
SQL Server Standard(Processor License) ¥698,000-×2	¥1,396,000-
Office SharePoint Server ¥538,400-×1	¥538,400-
Exchange Server Enterprise Edition ¥486,500-×2	¥973,000-
SharePoint Server CAL Standard ¥10,800-×500	¥5,400,000-
Exchange Server CAL ¥8,100-×500	¥4,050,000-
RMS CAL ¥4,400-×500	¥2,200,000-
合計	¥15,454,200-

ハードウェア、SI 費用、Active Directory 構築費用と AD 用の Windows Server ライセンス、Windows Server CAL は含まれておりません。
記載の価格は参考価格です（2007年9月現在）。お客様の実際のお支払額は、お客様の直接のご発注先である LAR 様・販売会社様との間で決定されます。
参考価格は、Select の価格レベル A の新規ライセンス（L）で算出しております。Select 契約のご利用は、別途ご契約が必要になります。

Microsoft®

製品に関する詳細な情報は、弊社 Web サイト
http://www.microsoft.com/japan/

または担当営業までお問い合わせください。

本書は情報提供のみを目的としており、本書の内容について、Microsoft は、明示的あるいは非明示的ないかなる保証もいたしません。本書に記載した情報は、将来予告なしに変更することがあります。本書を使用する場合の全体的なリスクまたは本書の使用による結果について、Microsoft はいかなる責務も負うものではありません。本書に記載されている会社、組織、製品、人物、イベントの例は架空のものです。実在の会社、組織、製品、人物、またはイベントとの関連を示唆するものではありません。適用可能な著作権方法すべてにお客様は準拠する必要があります。著作権上の権利に限定されることなく、本書の一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
Microsoft、Microsoft ロゴ、Active Directory、Forefront、PowerPoint、SharePoint、Windows、Windows ロゴ、 Windows Server は、米国 Microsoft Corporation およびその他の国における登録商標または商標です。
その他の製品名と会社名は、各企業の登録商標または商標である場合があります。